西浜通信

茅ヶ崎市立西浜小学校
２０２６年１０月３０日
１１月号
校長　木村　千裕

学校教育目標　～人間性豊かでたくましく 主体的に行動する児童の育成～
【学校スローガン】「自分も人も大切に“笑顔あふれる西浜小学校”をめざして」
【めざす子どもの姿】　すすんでやる子　がんばる子　思いやりのある子

雨天により延期や中断となった運動会ですが、晴天のもと１０月２８日に開催することができました。当日は、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、そして保護者の皆様から、子どもたちへ温かいご声援と拍手をたくさんいただき、心より感謝申し上げます。



運動会では、子どもたちそれぞれの表現で、演技や競技に臨みました。弾けるような笑顔や真剣なまなざしなど、一人ひとりの表情が輝いており、子どもたちの成長を改めて感じました。こうした運動会を成功に導いてくれたのは、運動会係を担ってくれた５年生と６年生です。係の仕事に責任を持ち、人を大切にする行動でそれぞれの役割を果たしてくれました。５年生と６年生の皆さん、ありがとうございました。これからの活躍も大いに期待しています。

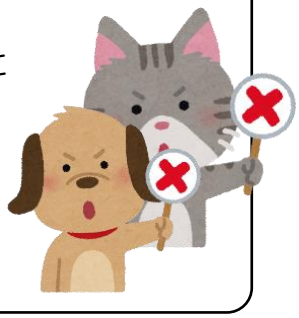
大切にしてほしい言葉

後期始業式の中で、子どもたちにお話ししたことを紹介します。

今日は、みなさんに「大切にしてほしい言葉」を紹介します。

その言葉は、「やめて」です。人はみんな、好きな色も違えば、顔も性格も、考えも違います。そして、「嫌だ」と思うことも違うことがあります。だから、あることをされて、ある言葉を言われて、「嫌だな」と思うことがあった時、そんな時には、「やめて」と言いましょう。この「やめて」を聞いたら、相手が嫌がっていることなので、どうしたらよいか分かりますか。　そうです。やめてあげください。

みんなが、この「やめて」という言葉を大切にしたら、今よりももっと笑顔があふれる学校になると先生は思っています。これから、みなさんで「やめて」の言葉を大切にしてください。そして笑顔を溢れる西浜小学校をみんなで作ってくださいね。



でもね、心の中で「やめて」と言おうと思っても、どうしても、その言葉が言えない人もいることを憶えておいてください。

お互いの「違い」を理解し、相手の嫌がることをしないということを、子どもたちに語りかけました。

「やめて」と毅然と言える強さ、それを言われたらすぐに引く素直さを育むとともに、心の中で「やめて」と思っても言葉にできない子がいることも考え行動できるようになってほしいと思っています。また、こうした、言葉にできない子の SOS を見逃さないよう、学校とご家庭が連携を図っていくことが大切と考えます。



お子様のご家庭での表情や言葉に気になる事がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。子どもたちが安心して輝ける学校を、保護者の皆様と共に作っていきたいと考えております。